

製品名: CREB3 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86881

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:41 kDa; Observed MW:41 kDa

抗原情報

遺伝子名	CREB3
別名	LZIP; LUMAN; sLZIP
遺伝子ID	10488
SwissProt ID	O43889
免疫原	ヒト CREB3 の合成ペプチド

背景

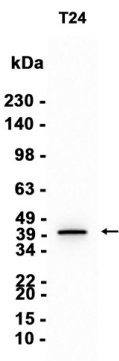
この遺伝子は、DNA 結合タンパク質のロイシンジッパーファミリーに属する転写因子をコードしています。このタンパク質は cAMP

応答配列に結合し、細胞増殖を制御します。このタンパク質は宿主細胞因子 C1 と相互作用し、宿主細胞因子 C1 は単純ヘルペスウイルス (HSV) 前初期遺伝子の転写を誘導するタンパク質 VP16 とも会合します。このタンパク質と VP16 は共に宿主細胞因子 C1 の同じ部位に結合します。このタンパク質と宿主細胞因子 C1 の相互作用は、HSV 感染における潜伏期の確立に関与していると考えられています。このタンパク質は、白血球遊走、腫瘍抑制、小胞体ストレス関連タンパク質の分解にも関与しています。追加の転写バリエーションが同定されていますが、その生物学的妥当性は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2009 年 11 月]

研究分野

-

画像データ



CREB3 ウサギモノクローナル抗体を 1:3000 で使用した T24 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。